

昨年演奏活動 25 周年を迎えましたが、これからも私の信じる音楽の道を、導かれるままに歩んでまいりたいと思っております。

今回のリサイタルでは、洗練された清らかさが美しいバッハのパーティータ第1番、典雅な雰囲気と宇宙的な豊かな広がりを感じるハイドンのソナタ、引き締まった緊張感がいさぎよいベートーヴェンの変奏曲、そしてショパンの名曲から最晩年の味わい深いノクターン、はかなく物悲しいマズルカ、ショパンの葛藤が鮮やかに表現されたスケルソ第3番、ショパンの人生が集約されたように感動的な舟歌と、いずれも生涯に渡って弾き続けて行きたい曲ばかりを選びました。

初夏のさわやかなひととき、皆様と少しの間でも思い出に残る時間を共有できたら幸いです。

小杉 真二

プロフィール

新潟県出身。

国立音楽大学に入学し、故児玉邦夫氏に師事。故 H・ピュイグ＝ロジェ氏のレッスンも受ける。3年生の時に、クラウディオ・ソアレス氏と出会い、氏の勧めで大阪芸術大学に編入学し、同大学を首席で卒業。学長賞を受賞。読売新人演奏会に出演。その後、東京で故ジュリア・ガネヴァ、故コンスタンティン・ガネフの両氏に師事。飯塚新人音楽コンクール1位、国際ピアノデュオコンクールグランプリ、PTNA ヤングピアニストコンペティション金賞、マルサラ国際ピアノコンクール（イタリア）入賞ほか、数々のコンクールにおいて上位入賞。在学中より現在に至るまで、各地でのリサイタル、東京交響楽団をはじめとするオーケストラとの共演、ゲーデ・トリオ、ベルリン・フィル八重奏団等との室内楽の共演などのコンサート活動を行っている。また、2012年より南雲竜太郎氏とのピアノデュオのコンサートも各地で行っている。

現在は千葉県船橋市に拠点を置き、コンサート活動の傍らで、船橋市と新潟市において後進の指導にあたっている。

